

防災ロープワーク



通年

時期



小学生～

対象



1.5時間～

時間

活動紹介

もしも水難事故に遭遇したらどうするかを考え、救助の際や災害時に役立つロープワークを学ぶ活動を通して、災害時の対応力を育み、防災意識を高めます。



日常でも活用できるロープワークを実際に体験しながら学びます。

事前準備（持ち物）

1. 団体 救急道具
2. 個人 動きやすい服装
 空きペットボトル（可能であれば）
3. 施設 用具一式 掃除用具

実際の活動（例）

《実施日まで》

1. ネイパル職員と打合せ（活動内容説明）
2. 引率者による事前指導
3. 事前準備、確認

《当日》

1. 活動実施
 - ・活動の流れ、安全、用具の説明
 - ・具体的な内容（例）
 - ①水難事故に遭遇したら…
 - ②災害時にも役立つロープワーク（ひと結び、本結び、巻き結び など）
2. 用具返却、清掃（研修室の現状復帰）



ロープや身近なものを使って、水難事故の際の救助の仕方をシミュレーションすることもできます（2時間以上必要のため、希望する場合はご相談ください。）

指導・安全確保

1. ネイパル職員が、指導や用具貸出を行う
2. 引率者は、指導補助や安全確保を行う
 - ・人数や体調の確認をこまめに行う。

留意点

1. 活動時や活動後、ロープを振り回したり、体を締めつけたりするなど、危険な使い方をさせない。
2. 救助時に活用できるロープワークを学ぶが、実際の水難事故の際には、まず「人を呼ぶ・通報する」ことを最優先にすること。ロープを用いた救助を試みる際は、救助する側も事故に巻き込まれてしまう二次災害を絶対に起こさないため、自らの安全が担保されていることを大前提とすること。



活動をした方の声 「ふだんの生活でもロープワークを使っていたいと思いました。」